

# SAKU らいぶ 45号

## 図書館だより 平成25年10月号

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館

### [ 内容 ]

- ・大学図書館の現在
- ・らいぶNEWS
- ・SAKUらセレクト
- ・NewFace 登場
- ・季を愛でる
- ・らいぶ Question
- ・図書館開館カレンダー

## 大学図書館の現在

作新学院大学 人間文化学部教授 中山縁朗

大学図書館のあり方が大きく変化している、という記事が新聞に掲載されていた（「朝日新聞」平成25年9月27日朝刊）。「ラーニングコモンズ」と呼ばれている空間の拡大である。「common room」は「談話室」であるから、「学習談話室」ということになる。パソコンが利用できるのは当然として、どの大学図書館の「ラーニングコモンズ」でも共通する特色は、議論、討論が自由に展開できることにあるようだ。これまで日本の大学の



授業風景は、教員が一方的に知識を授けていくといった一方通行のものが主流であった。近年は課題を設定し、教師と学生がともにその課題について、議論、討論を重ねつつ解決策を見出していく、という方向性が急速に広がっており、そのことが大きく関係しているようだ。

こうした大学図書館の変化は当然のことであり、大いに歓迎すべきことである。地方自治体の公共図書館も、幼児が遊べる空間を設置するなど、様変わりしている。こうした新しい動きとは別に、私には心配なこともある。かつて勤務していた大学に近いこともあって、岩崎家が収集した静嘉堂文庫や加賀前田家の尊経閣文庫などで、国宝級の書物を拝見する機会を持つことが出来た。こうした貴重書を有する伝統ある文庫の維持・管理が、今日では難しくなっているという。気掛かりなことである。

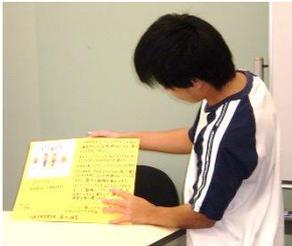




作新学院高等部の総合進学部と情報科学部の2年生が、夏休みを利用してインターンシップを行いました。



パソコンを使って本の検索をしたり、お気に入りの本を紹介するPOPを作ったり、一日司書さん達は大活躍でした。



また、本の配架や新聞の整理は量も多く複雑で、「図書館の仕事は思っていた以上に重労働だった」という感想が聞かれました。



～本学図書館にある珠玉の1冊を紹介します～

### 『みんなの9条』 マガジン9条編集部 編 集英社新書 323.1/Ma

日本国憲法9条について改正すべきか否かという問題が、昨今取り沙汰されています。

本書は憲法9条をみんなで一緒に考えていこうというインターネット上のウェブマガジン「マガジン9条」を書籍化したもので、さまざまな分野で活躍する著名人に意見を聞いています。「改憲」にも「護憲」にも偏らずそれぞれの人の考えや経験や生き様までもが語られていて興味深く読むことができます。

ニートや格差社会に詳しい作家の雨宮処凛が愛国パンクロッカーだった経歴や、吉本興業プロデューサー木村政雄が「大阪流お笑い外交」で世界平和を築く構想は非常におもしろいです。

作家橋本治の言葉も印象的です。「憲法は自衛隊に関してうやむや。でも私はうやむやでも不都合がないのだから、それでいいじゃないのと思う。不都合がないからうまくやるというのは、アメリカ人にも中国人にもできない、日本人ならではの特性なのです。グローバリズムの中でもこれは、ずば抜けた才能だと思っていい。」

本書を開いて普段はあまり気にしていない憲法9条について、立ち止まって考えてみませんか。

改憲にせよ護憲にせよ日本の平和、ひいては世界の平和のためにならなければ意味がないのですから。

# NewFace 登場



～新しく作大に配属になった職員からのメッセージです～

## 文章の書き方を学んだ本

学生課 菊池早千江

私は、三月まで看護師を養成する学校に勤務していた。看護職は医療福祉チームの一員である。医療福祉チームは患者を中心とする。患者情報の共有には、「わかる文章」を書く必要がある。そのため、看護学生は演習記録や実習記録など記録の提出が多い。看護教員養成課程の専門基礎分野には、論理的思考と表現力を高める科目がある。看護学生を指導するためである。私は11年前に看護教員養成研修を受けた。「論理的思考」の講師は、宇佐美寛先生だった。宇佐美先生から「明るく、強く、たくましく書く」ことを学んだ。文章を書く時には、宇佐美先生の声で教えを思い出す。文章表現に困ると宇佐美先生の本を開く。『新版論理的思考』の第五章に、文章の書き方の参考となる図書の紹介がある。また、『大学の授業』は、2012年に新訂版が出ている。

新訂版 大学の授業 東信堂 刊 377.1/Us



## 季を愛でる

りょう や  
良 夜

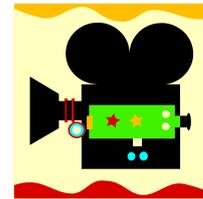
今年の「十五夜」は満月で迎えた。中秋の名月が満月にあたるのは、2011年から3年連続だそうだが、この後は8年後になるという。今年は天候にも恵まれ美しかった。俳句では、この陰暦8月15日の名月の夜を「良夜」という。蘇東坡の「後赤壁賦」の中の、「月白く風清し。此の良夜を如何せん」に拠る。

するすると登りし今宵良夜かな  
良夜かなけふ詠はねば間に合わず

千秋



# らいいび Question



宮崎駿・加藤登紀子対談『時には昔の話を』より

778.77/Mi

宮崎「映画の仕事もそんな風に終わられたらって、いつも思うんです。評判を気にしたり、(①)の入りはどうかとか、そういうんじゃないくて、イベントもキャンペーンもなしに、(②)仲間といつもの店でね、黙って(③)を飲んで、でも友愛とか誇りとか、世界との親和みたいなものを感じて。それでおしまい。」

図書館にある資料から出題します。答えはカウンターにある解答用紙に記入してください。全問正解で1ポイントです。今年度中に5ポイント集めた方には、記念品を贈呈します。

## 図書館開館カレンダー 10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9:00~18:00  休館日

9:00~13:30

~~~~~ 発行・編集 ~~~~~  
作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館  
Tel 028-670-3651・3652  
Fax 028-670-3619  
E-mail [tosyo@sakushin-u.ac.jp](mailto:tosyo@sakushin-u.ac.jp)  
URL <http://www.sakushin-u.ac.jp/library/>

